

《指導者のみなさんへ》

この資料は

- 指導要領にのっとり編集してあります。
- 「福島市」での指導を念頭に作成しました。
- 最新の写真を多用していますが、事象は刻々変化しますので、指導の目標にてらして活用して下さい。
- 変化する統計的資料は50ページ以降に集中させ、改訂のたびに更新します。最新データの入手に工夫してみてください。
- 「生活科」を体験した児童の使用も考え「自ら活動し学ぶ子ども」を想定して作成しました。
- 地図（別添のもの・資料中のもの）は、縮尺・線引など吟味して製作されています。拡大・縮小など工夫してご使用ください。
- 「教師用手引」を別発行し、配布してあります。参考にして下さい。
- 市内各校の指導計画すべてに対応しているわけではありません。社会科入門期である3、4年生の目標を明確にして「自分の住む地域」を重視しながら、ご利用ください。
- ◎ 3年教科書（上）〔平成8年度版以降〕では、児童文化センターを取り扱っていますが、福島市では4年で体験学習をするので、単元の主旨をとらえて、自校化した指導の展開が期待されます。
- ◎ 「きょう土をひらく」では「西根堰」をメインに取り上げました。「自分の住む地域」にあわせて、他の事象の教材化が期待されており、「庭坂の梨づくり＝鳴原佐蔵」も導入しました。
- ◎ 「きょう土にひびくメロディー＝古関裕而」も教材化できる事象と考え掲載しました。教材化に取り組んでみて下さい。



〔おねがい〕 この資料集を使用してみても感想・要望等がありましたら、福島地区小教研社会科研究部宛およせ下さい。